

令和6年度 学校関係者評価委員会における評価一覧

令和7年3月24日開催

評価項目・問題点			現状・取り組み	評価委員の意見・改善点	
1 学校理念					
1	1	教育理念・目的・育成人材像は定められているか			
		1	学校の理念は定められているか	学校の理念は「柔道整復師の育成を通じて地域社会へ貢献すること」として定められている。	なし
		2	教育目的は定められているか	教育目的は「柔道整復師の養成」として定められている。	なし
		3	育成人材像は定められているか	教育人材像は「知見高く技術力と人間力の高い柔道整復師」として定められている。	医療従事者としての自覚・品性を持った人材の育成をお願いしたい。
2 学校運営					
2	1	運営方針が策定されているか	学校の戦略として策定されている。	なし	
	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	策定されている	常に柔道整復師の育成を念頭においた事業計画を推進していただきたい。	
	3	運営組織・人事に関する規定の整備は行われているか	策定されている	学生対応を最優先とした組織づくりや適材適所による職場環境の整備に配慮していただきたい。	
	4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	教職員・役員組織図、財務関係の意思決定手順が整備されている（各種決裁書類が整備されている）	組織の整備にあたっては適宜理事会に諮り、迅速に意思決定の対応が図れるよう努めていただきたい。	
	5	情報システムによる業務効率化が図られているか	学生情報管理システムの更新により業務効率化は向上している。	学生情報の取り扱いには十分に留意していただき情報の漏洩対策に務めていただきたい。	
3 教育活動					
3	1	教育目標の設定は行われているか	国家試験現役合格率 90%以上、退学・留年率共に10%未満等が設定されている。	専門的な教科が多いために、教員の方々には学生の能力や理解度に応じた分かり易い授業を心掛けて行っていただきたい。	

3	2	人材育成像を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は行われているか			
3	2	1	教育到達レベルを確保しているか	国家試験過去問題を取り入れた授業時間を確保し国家試験対策を講じている。また、試験結果等で習熟度を見極め、学力に応じた補講対策を定期的に講じている。	1, 2年次から国家試験を意識させていただき、授業や補講において全学生の学習レベルの底上げを図り、高水準の学力を保持していただきたい。
		2	学習時間は確保しているか	1年次より成績別の授業や補講を行うなど学習成果が未達の学生を中心とした学習時間を確保している。	各教員は、学生個々の学力を把握し、規定学力に未達の学生には適宜個別指導を行うよう配慮願いたい。
	3	教育課程の編成は法令を遵守し社会ニーズに応じたものであるか			
		1	教育課程は法令を遵守し作成されているか	作成されている	なし
		2	教育課程は社会ニーズに応じて作成されているか	作成されている	法令や通達に沿った教育が実施されているか、常に検証、点検を行っていただきたい。
	4	教育方法・教材の評価、改善（検討）は行われているか			
		1	教育方法の評価、改善は行われているか	定期試験、小テスト、レポートの提出等の評価を基に教育方法の改善に関する会議を行っている。	各教員にて授業方法や改善点に関する意見交換を適宜行い、教育効果の検証をしていただきたい。
		2	教材の評価、改善は行われているか	前年度の実績を基に、年次単位で補助教材の評価、検討を行っている。	なし
	5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか			
		1	成績評価基準が明確化され、遵守されているか	学生には年度前のオリエンテーション時や定期試験や進級・卒業に関わる試験告知時に説明、掲示を行っている。評価については教職員による判定会議にて適正な認定を行っている。	医療従事者を目指すの者として自覚を持ってもらうために厳格な評価を行っていただきたい。
		2	単位認定の基準が明確化され、遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。認定については進級、卒業判定時に教職員による判定会議にて適正な認定を行っている。	学生には、学則や学生便覧を熟読させ、自身の不得意科目の勉学に励むよう指導してもらいたい。
		3	進級判定の基準が明確化され遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。判定については年度末に教職員による判定会議にて適正な判定を行っている。	透明性をもった進級判定を行ってもらいたい。

3	5	4	卒業判定の基準が明確化され、遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。判定については年度末に教職員による判定会議にて適正な判定を行っている。	同上
	6	資格取得に関する指導体制、学習時間の確保は行われているか			
		1	資格取得に関する指導体制の整備、実行は行われているか	3年次の年度初頭より1・2年次の復習も含めた国家試験対策の講義を行っている。講師には国家試験対策に知見の高い教員を編成し学力の底上げを図っている。	前年度の国家試験出題の傾向や結果を分析し、問題点を抽出し講義・補講を見直すとともに、外部から国家試験対策に関する情報収集を行い、学生にフィードバックしていただきたい。
		2	資格取得に必要な学習時間の確保は行われているか	模擬試験の評価により国家試験対策補講を実施し指導を行っている。また、一定基準点に未達学生に対して個別面談と補講等を行い学習時間の確保を図っている。	一定基準に達していない学生に対しては、教員が連携した個別指導を粘り強く継続し、資格取得に向けたモチベーションを高めていただきたい。
	7	人材育成に適切な教員の確保が行われているか			
		1	柔道整復学および関連学の授業に適切な教員・講師の確保はできているか	法令に沿った、必要な柔道整復専科教員数を確保している。採用にあたっては臨床経験および教員経験を評価して採否を決定している。	学生が満足する授業が行われているか、定期的に各教員間で協議をしていただきたい。また、学生から学習に関する相談にも耳を傾け対応していただきたい。
		2	医学および関連学の教授に適切な教員・講師の確保はできているか	国家試験対策に卓越した現役の医学系大学所属講師を複数名採用している。	学生の理解度に応じた授業を心掛けていただきたい。
		3	社会学・実務関連学の教授に適切な教員・講師の確保はできているか	社会学は原則として大学での教育経験を有する者を採用している。実務関連学は柔道整復専科教員の免許所有者のうちから適任者を確保している。	同上
		8	優れた教員確保を行うマネジメントが行われているか	県内外の有資格者名簿を作成し、教育経験豊富な講師の採用を心掛けている。	県内外から知見のある講師に関する情報を収集し、分かり易い授業が行え、学生が親身に相談に乗れる講師を確保していただきたい。
		9	教員の資質向上に関する取り組みや研修が行われているか	業界関係団体での研修や医療技術関連協会等の研修会への参加をしている。	県内外の研修会には積極的に参加し、教員のキャリアアップに努めていただきたい。

4 学習成果					
4	1	就職率の向上が図られているか	毎年100%の就職内定率を維持している	学生の選択範囲が拡大できるよう、引き続き県内外共に多様な就職先の開拓に努めていただきたい。	
	2	資格取得率の向上が図られているか	年度毎の国家試験の出題傾向や難易度の変化に対応すべく教育内容の改善を図っている。	国家資格取得に向けた教育内容の充実、国家試験の出題傾向の把握等、常に講師陣のキャリアアップに努めていただきたい。	
	3	退学率の低減化が図られているか	学生に対する個別相談、個別指導、声掛けのほか保証人と連携した勉学意欲の向上に努めている。	各教員が連携し、学力停滞学生に対する勉強方法の指導など、具体的な個人指導を粘り強く推進していただきたい。	
	4	卒業生・在学生の社会的評価を把握しているか	教職員が就職先を訪問し、卒業生の評価を伺うとともに、要望等の聴取を行っている。	就職先の企業等を積極的に訪問し情報交換や卒業生に対するフォローを行い、次年度の求人情報の収集にも努めていただきたい。	
	5	関連学識の研究、研究発表が行われているか	研究サークル活動等を行い学会での学生発表に参加している。	なし	
5 学生支援					
5	1	1	全学生の就職活動状況の把握ができているか	個別の就職面談とアンケート調査及び学生の就職活動の申告により、活動内容を把握している。	学生が気軽に就職相談のできる環境を築き、希望・適正を的確に把握し要望に沿った就職支援を行っていただきたい。
		2	就職活動に関する相談・支援体制ができているか	学生支援室での就職相談及び求人情報や企業パンフレットの閲覧が可能である。また、スマートフォンより学校独自の求人検索サイトからの閲覧も可能である。	常に就職先の新規開拓に努めていただきたい。また、学生のニーズに沿った就職活動が出来るよう更に工夫をしていただきたい。
		3	法令違反となる雇用や雇用条件の提示を行っている企業の排除（非推奨）は行われているか	就労条件が労働基準法に反している求人については排除を行っている。また、過去に不適切な雇用を行った企業の非推奨を行っている。	関連業種や卒業生等からの情報収集を積極的に行い、不適切な企業への支援活動は行わないようにしていただきたい。
		4	卒業直後の雇用状況等の相談・支援の体制はできているか	学生支援課において親身に対応している。再就職先の提供も行っている。	就職直後の不安解消に努め、教職員によるフォローを継続的に行っていただきたい。
		5	就職先企業と担当者の癒着、学生情報の漏洩はないか	癒着、情報漏洩は確認されていない。	関連企業等から情報収集を行い、公平な就職支援活動が行われているか、継続的に点検を行っていただきたい。

5	2	学生の経済的支援体制は整備されているか			
		1	学納金に関する学生の相談体制は整備されているか	事務局において随時行っている。	学生の家庭内事情を把握したうえで慎重に相談に乗っていただきたい。
		2	奨学金・各種補助金等の受付や案内が行われているか	入学者の募集活動時及び入学後において奨学金、各補助金の提示および説明会を実施している。	入学後も適宜奨学金等の告知、案内を行っていただきたい。
	3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか			
		1	学生の傷病等に対する緊急対応手順が遵守されているか	令和5年度の学生の傷病保険の見直しを行い、事故発生時の補償整備を整備したほか、緊急の傷病の場合、状況を医療系資格者の判断により、病院搬送、一時休養、保護者通知、帰宅推奨を行っている。	開学以来、学生の傷病に関する重大不適切対応事案は発生していないが、発生時に備え適切な対応を行っていただきたい。
		2	傷病・健康に関する学生相談の体制は整備されているか	教務課にて相談を受け付け学内対応できるものは対応している。それ以外の場合は、医療機関の受診、診断を推奨している。本人及び教職員保護のためメンタルケアに関する相談については提携している医師のカウンセリングを推奨している。	対応に当たっては、慎重に行っていただき、個人情報の保護の観点に配慮していただきたい。
		学生の生活環境への支援は行われているか			
	4	1	生活に関する学生相談体制は整備されているか	教務課において相談を受け付けている。相談内容により教員、学生支援課、総務課が対応している。	教職員間での連携を密にし、どの学生においても同等で適切な対応をしていただきたい
		保証人（保護者）と適切に連携しているか			
	5	1	学習成果・欠席の状況の報告を行っているか	期末ごとに通知書を送付し報告している。欠席については規定による単位保留、単位未修得とならないよう回数を定めて保護者に報告し、連携による改善を目指している。	学生はもとより、保護者に対しても情報共有に配慮していただきたい。
		2	学籍異動に関わる事項、学則違反の状況などの報告を行っているか	成績・欠席状況等は随時連絡している。学則違反については、懲戒に該当するものや学生生活の安全・健全を害するものについて報告し連携による改善を目指している。	学校と保護者の連携による生活改善指導が重要であることから引き続き緊密な連携に努めていただきたい。

5	6	卒業生への支援体制はあるか	再就職の相談、試験対策補講、模擬試験の参加呼びかけ、受験手続等の支援等を行っている。	可能な限り、在校生と同等に近い対応をお願いしたい。
6 教育環境				
6	1	施設・設備が必要十分に整備されているか	教育課程に合わせた教室、実習室の確保、設備の確保・改善を行っている。	柔道整復師養成教育に必要十分な設備が整っているものと評価する。引き続き、経年劣化など設備の点検を積極的に行い改善していただきたい。また、学生においては自身の職場という意識のもと丁寧な扱いを実習棟の清掃、整理に気を配っていただきたい。
	2	防災体制は整備されているか	年2回、防災設備の定期検査の実施を行っている。	法令に沿った体制や定期点検を怠らずに継続していただきたい。
	3	通学に必要な公共交通機関との連携は図られているか	J R及び新潟交通には、学校届時に通学状況報告を行っている。遠方地からの通学を除き通学に支障となる時刻表の編成は行われていない。	なし
7 学生の受け入れ募集				
7	1	高等学校・体育施設・企業等への広報(情報提供)は行われているか		
		1	取得資格の啓蒙は行われているか	資格取得に関するパンフレット等を高校、体育施設、医療施設等に配布および配置していただいている。
		2	学校・学生活動の広報が行われているか	パンフレット、SNS等で学校での授業・実習の様子のほか就職支援の状況等が定期的に紹介されている。今後も細部にわたる学生生活の状況を広報していただきたい。
	2	学生募集活動は適切に行われているか		新潟県内及び近隣県に対し、通年で告知活動は行われている。AO入試、入学試験等の開始日程は専修学校協会の基準に準じて行われている。
	3	学生納付金は妥当なものになっているか		近隣県及び全国の養成校と比較して妥当なものであると考えられる。

8 財務				
8	1	中長期的な学校財務基盤は安定しているか	収入の中心は学生納付金であることから学生数の変動により短期的な些少の収支の変動はあるが、剰余資金は確保されている。資産や設備等の購入等は計画的に無借金の経営で行われており、中長期的にも安定した財政状況が継続できていると考えている。	安定した経営基盤を継続していく上でも柔道整復師の魅力をアピールし学生の確保に努めていただきたい。
	2	予算・収支計画は妥当であるか	内外の情勢、突発的事案の発生により予算の超過・予算未達が発生する場合があるが、その変動は年次収支の総額において県補助金規定の範囲内であり些少であると考えている。	予算、収支計画等については、理事会、評議会で審議を図り、透明性を確保していただきたい。
9 遵守事項				
9	1	専修学校設置基準の遵守が行われているか	遵守している	なし
	2	養成施設設置基準の遵守が行われているか	遵守している	なし
	3	個人情報保護対策が取られているか	学生情報システムの暗号化、学内情報網のセグメント化、ウイルス対策等のシステム上の対策や教職員への情報教育、情報閲覧者の制限等の対策を行っている。	セキュリティソフトのインストールをはじめ、P C使用時における遵守事項の指導を教職員に徹底し個人情報漏洩の絶無を期していただきたい。
	4	学校評価が行われているか	行われている。	なし
10 社会貢献				
10	1	学校施設が学校資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	自治体の行事が行われる際、学校の駐車スペースの貸し出し等を行っている。	なし
	2	学生の社会貢献活動を推奨しているか	卒業認定の要件の一つとして、社会貢献活動を6回以上と規定し、積極的な活動への参加を推奨している。	奉仕的精神を養うことは医療従事において必要不可欠である。また、地域社会から高い評価を得ているので引き続き実施していただきたい。 自校主催の活動より、他団体が主催する校外での活動を積極的にやっていただきたい。

11 国際交流			
11	1	留学生の受け入れについて検討を行っているか	関係法令等を確認し検討を行っているが、 国家試験の文言理解等に日本語検定2級程度以上の語学力が必要であり、言語教育システムの整備が必要である。また、卒業後、国家資格を取得しても在留資格である「医療ビザ」の対象外となるなど問題点が多い状況にある。
12 感染症対策			
12	1	感染症（コロナやインフルエンザ等）対策は適切に行われているか	医療系の学校として、引き続き感染予防に努めて行く。学生個人の行動制限には限界があるが、医療系資格者の養成校として学生に対しても自重を促し、適切かつ慎重な対応を継続している。 学生からの報告時、感染症と疑われる場合は、登校はさせず医師の診断を受けるよう促している。感染症との医師の診断の際は医師の指示による期間は登校禁止としている。
13 情報公開			
13	1	学校施設・設備に関する情報公開を行っているか	パンフレット・WEB情報公開ページにて行っている。
	2	財務情報に関する情報公開を行っているか	WEB情報公開ページにて行っている。
	3	教育活動に関する情報公開を行っているか	パンフレット・WEB情報公開ページにて行っている。
	4	学修成果に関する情報公開を行っているか	WEB情報公開ページにて行っている。